

この間、行きつけの本屋さん、梅田の紀伊国屋（きのくにや）書店によく行くのですが、珍しく休みだったので、他の売り場面積の広い本屋さんに行きました。その日は不作で2時間くらい。結局これくらいかなという事で1冊レジに持って行ったら、担当者が「カバー、要らないんですよ」と言うんですよ。普通は「カバー、お付けしましょうか?」でしょ? 「なんじゃ、こりゃ」と思ったら、「カバー、付けませんよね。高原さん。僕、ユーチューブ見てます。本、すごく厳選されてお買い求めになるんですよ」って。「2時間立ち読みして1冊かい」と。「立ち読み長くて悪いねー。」「全然、気にしなくていいです。」本当に気にしなくていいというのが伝わったので、僕は真に受けようと思っているのですが、ちょっと不思議な感覚です。

私は彼を全然知らないのに、彼は私を詳しく知っている。家族構成まで知ってて、好意的に話しかけてくれた。僕は、これは神様と人間との関係についても言えるんじゃないかなと思うんです。

この中には、神がおられるという事をまだ信じていない方や、或いは、神様の事が分かりかけて来たという方がいるかもしれません。いずれにしても、人間の側で知っている神様の情報は微々たるものですが、神様の方では皆さんの事はよく知っています。神はあなたの作者だから。あなたが生まれる前から、あなたをご存知なんですね。

「神は私たちを愛して造った。神は私たちを心から愛しておられるんだ。」これが今日1番言いたい事で、その根拠を示したいと考えています。こう言うと、「神が愛なら、なぜこんな事が・こんな不平等が・不条理があるのか」と色んな反論もあると思います。

昨日、家内がスーパーにトイレットペーパーを買いに行ったら、どこも売ってない。薬局もどこもない。「マスクとトイレットペーパーの原料は同じ。マスクを大增産するので、マスクに原料を取られてトイレットペーパーが無くなる」というデマがインターネットで広まっているから。

それで、日本家庭紙工業会という業界団体の林廣文（はやし ひろふみ）会長が声明を出しました。

「トイレットペーパーとマスクの原料は全然違います。マスク増産によって、トイレットペーパーが品薄になる事は全くありません。工場の中に在庫が山のようにあります。インターネットでは、日本のマスクの98-99%が中国からで品薄だと言っているが嘘です。日本で流通しているマスクの97%はメイドインジャパン。外国製は殆どありません。」

マスクは毎月6億枚ですか? 「マスクもトイレットペーパーも今お店にないのは、パニックになって買うからです。しばらくしたら必ず店頭と並ぶようになるので、どうぞ冷静に。」

これはすごくいいと思いました。無い時に「大丈夫や。大丈夫や」と言っても大丈夫じゃないです。昔もオイルショックでトイレットペーパー騒ぎがあって、買うために皆が走り回っている時、針中野に住んでいたイーデス・ハンソン（1939-）が「日本人、何考えてるん? いざとなったら指で拭きなさい」と言ってましたね。「トイレットペーパー無かったら死ぬの?」大阪弁で。

フェイクニュースに対して「大丈夫。大丈夫」という言葉は全く説得力がない。フェイクに対してはファクトで答えるのが1番良いそうです。まがいもの・デタラメ情報に対しては、事実を示すのが1番いい。聖書に「**真理はあなたがたを自由にする**（ヨハネ8:32）」という言葉があります。

色んな因習や思い込み、例えば「神は無い・神は愛じゃない・人生にやり直しはきかない・死んだらゼロになる」など、色んな事が溢れているけど、それに対して事実で反論しているのが聖書です。

今日私が証言したいのは「神様は愛だ」という事で、3つのポイントで見たいと思います。

黙示録 1:5-7 また、確かな証人、死者の中から最初に生まれた方、地の王たちの支配者であるイエス・キリストから、恵みと平安があなたがたにあるように。私たちを愛し、その血によって私たちを罪から解放し、また、ご自分の父である神のために、私たちを王国とし、祭司としてくださった方に、栄光と力が世々限りなくあるように。アーメン。

イエス・キリストが「私たちを愛し」の「愛し」は継続形の動詞で、1回だけ愛したとか、過去のある時点で少し愛したというのではなく、ずーっと愛し続けている。私たちがイエス・キリストを信じてから愛して下さったんじゃないんです。キリストを信じていない時も、信じていないままで愛して下さっている。罪に陥っている時も、もっと言ったら、罪を行っている最中でも、神はその人を愛しておられる。罪そのものを愛しているんじゃないですよ。その人を愛している。神はずっと愛している方。それがなぜ分かるのか？

1) 自然界を神の作品という観点で見ると、神は私を愛して下さっていると気がつく事が多いと思います。カナダのブリティッシュコロンビア州に有名な日本人の精神科医がおられて、この方の話を聞きたいと思い、約1週間一緒に伝道旅行をしました。今でもよく覚えています。

彼の家に、真っ白のメチャクチャでかい犬がいますが、殺処分される動物を一定期間預かる保護センターから引き取ってきた犬。人間から虐待されていたので非常に警戒していて、体は大きいけどすごく臆病。それゆえに攻撃的反応がある。そんな犬をわざわざペットに。「この人すごいな。仕事も趣味も全部カウンセリングやな。犬までカウンセリングするんか」と。

ホームステイさせてもらったけど、よそ者が入って来たという事で、私が行くと「ウー！」すごい怖い。別れる日頃に仲良くなりました。

昨年、そのブリティッシュコロンビア州で、ディー・ガラントという若い女性が、愛犬を連れて森の中を散歩していました。非常に自然が豊かな所です。

1キロほど散歩した時、何気にパッと後ろを見たら、15mの所にピューマがいたんです。体長3m。

ピューマは大型のネコ科の動物で、たてがみをバリカンで剃った後のライオンみたいな感じ。

15mの所でずっとこちらを見ていて、止まるとピューマも止まる。歩き出すと、またついて来る。

振り返って見ると、また止まる。ところがさっきより距離が縮んでいる。15mからじりじりと10m. 9m. 8m. 至近距離に入った。「あ、やばい。」完全に捕食者と被捕食者の関係。ダッシュで跳びかかれば、どうしようもない。

彼女は振り返って、大声で「ワー！」。でも若い女性の「ワー」って、怖ないわ。上沼恵美子（かみぬま えみこ）やったら怖いと思うけど。出来るだけ体を大きく見せようと、手を回してワーやるけど、ピューマは微動だにしない。ほんとにやばい。

その時彼女が取った方法は、スマートフォンのプレイリストの中から、最も攻撃的な楽曲をかける事でした。「メタリカ」というヘヴィメタル・バンド知ってますか？『トレッド・オン・ミー』（Don't tread on me）やったかな、「俺の領域に入るな！」という曲があるんです。テーマ、ピットリヤン。

そのイントロ、いきなりドラムとリードギターでギャー！ 皆さんも聞いてみたら嫌になると思いますよ。これをボリューム10/フルボリュームの大音量で。そしたら、ピューマがヒヤッと驚いて去って行った。

「ヘヴィメタ・ロックで命救われた」と友達に言いふらしたら、次々噂が広まってCNNが取材しました。

すると、そのニュースを見たメタリカのメインボーカルから電話がかかって来て、「僕の曲が君の命を救ったんだって?! 嬉しいなあ。僕の曲を保存してくれてありがとう。」彼女は（これ、ニセモンちゃうん？）「君、ニセモノだと思っているだろ？」読まれてる。電話を切るとすぐに、自撮りしたボーカルの写真が送られて来ました。

彼女はインタビューで、「しばらくの間は楽曲に感謝していた。攻撃的な音楽のお陰で命拾いして、ありがとうと思っていたけど、本当に感謝しなければならないのは、楽曲を作った作者じゃないのか？自分の曲が命を助けるのに役に立って嬉しいと、まるで自分が助かったかのように喜んでいる作者の言葉を考えたら、作った人に感謝する方がもっと良いと考えが変わった。」

日本人は、自然を愛でる事にすごく長けている国民だと思います。短歌・俳句・歌・絵画・音楽によって自然界を堪能し喜ぶ事が非常に上手。季語だけでもいっぱいあります。けどしばしば、自然を拝むでしょう。自然に感謝します。太陽を拝みます。でも本当に感謝されなければならないのは、私たちに益をもたらしている作品を造った作者ですよ。『そんな作者なんかいない』と思って自然界を見ても、神が私を愛しているというのは分からない。しかし、この自然界は私を助けたり・励ましたり・慰めたりするために神が造ったものだと思って鑑賞すると、慰めるもので満ちているのではないのでしょうか。

去年、千回記念メッセージでも少し言いましたが、日本一の株式の天才が道を歩きながら、「タンポポのように人間よりも低い所に咲いている花は上を向いて咲いている。ヒマワリのように人間と同じ背丈の草花は横向いて咲いている。桜のように人間よりも高い所に咲いている花は下を向いて咲いている。まるで、花が人間に向かって咲いているみたいだ。神様が人間に自然界の花束を差し向けて、『これを見て元気出せよ』と励ましているみたいだ。」クリスチャンではない方が言いました。作者がいると思うと、「私は何と愛されて整えられた環境の中にいるのか」という事が分かると思います。

2) **その血によって私たちが罪から解き放ち**；キリストの十字架の死を見る事によって、神が愛して下さっている事が分かる。

人間の血は体重の約 1/13 だそうです。やっぱり、体の大きい人にはたくさんの血液が流れている。血液は栄養分や酸素を細胞に運びます。と同時に老廃物を運び出してくれます。良い物を運び入れ、悪い物を運び出す。だから、血が無くなると、それができないので死ぬんです。体の状態がどこも悪くなくても、大量出血で血液が無くなると死にます。

聖書によると「命は血である。」「血は命なので、血は食べてはならない。」

血は英語で Blood。辞書で調べると翻訳はやはり「血」と書いてあります。2 番目に「命」、3 番目に「体液」、4 番目に「(家系の) 血統」。「血」以外に 1 番頻繁に使われるのは「命」。

ヘブライ語で最初の人間を「アダム」。アダムは土で造られました。人間は死んだら「土に還る」と言うでしょ。土はヘブライ語で「アダマー」。アダマーから造られたからアダム。「土男/つちお」。アダムは「人」と訳す事もできます。「人男/ひとお」。「私」は「アダム」。「私は人の子」は「ベン・アダム」。アダムの「ダム」は「血」という意味です。つまり、アダムは血で出来ている人。土で造られているけど、その体は血で出来ている。聖書は血を非常に重く見ます。

漢字で「血」は「皿」に冠（丶）付けると「血」。

血液は、基本的には血管の中を流れるもの・体の中を循環しているものです。だけど、血という言葉の由

来は、お皿という入れ物の中に注いで、それを携えて神に近づいて行くための献げ物という意味。つまり中国文化に、器に血液を入れて、その血を携えなければ神に近づく事はできないという思想があったのです。これは聖書が言っている事と非常に近い。

ヘブル 9:22 律法によれば、ほとんどすべてのものは血によってきよめられます。血を流すことがなければ、罪の赦しはありません。

血がすごく大切なものとして言われている。

聖書で最初に血という言葉が出て来るのは、人類史上初の殺人事件の直後です。カインというお兄さんが弟アベルに襲いかかって殺してしまう。そして、弟アベルの血が地面に吸い込まれました。神がカインを咎めます。「あなたの弟はどこに行ったんだい？」カインは言い返しました。「私は弟の番人ですか？どこに行こうが、私には関係ないじゃないですか。」その時神が、「いや、アベルの血が叫んでいる。あなたの罪を告訴するために、血がわたしに向かって叫んでいる！」

つい 2・3 週間前に、全然クリスチャンでない方から言われました。健康診断。胃カメラ検査もあって、私は苦手なので麻酔で眠らしてもらおう。その間に出し入れして、目が覚めてから説明されるのですが、麻酔の目覚めた時の時って、何言われたか覚えてられませんよ。血液検査の結果を聞いたけど何も覚えてない。聞きに行ったかも覚えてない。それで、後日もう 1 度聞きに行ったら、「最近ジムに行っていて走ってるんで、去年と違って、だいぶイケてるんじゃないですか？」と言ったら「血は嘘をつきません」と。

血液から 60 くらいの情報を読み取る事ができるそうです。沈黙の臓器と言われる肝臓。でも肝臓は血液を通して雄弁になるそうです。肝不全になって来ると、血液に肝臓の色んな酵素が出て来て数値となって表れる。だから、「血はあなたの弱点を全部喋りまくっている。血は叫んでいる。正直だ」と。

「ほんまに走ってんねんけど。」「その程度ではダメだという事です。」

身体の情報だけではなく、聖書では血は命。血が神の前に叫んでいる。血には特別なメッセージがある。

昨年 10 月、タイの南の方のヤラー県で、裁判官が 5 人の被告人に無罪判決を下した直後、銃で自分を撃ちました。6 月に 5 人のタイ人が何者かに襲われて殺され、タイ当局・警察が 2 カ月後に彼らを抑えて、「こいつらが犯人だ」と裁判にかけましたが、裁判官カー・コーンは「全員無罪」と判決を下した後、ポケットから拳銃を出して自分の胸を撃ったんです。

仏教徒が多いタイには、1 つ大きな問題があります。南部にはマレー系のイスラム教徒がいて、その人たちはタイから独立しようと武装化しています。全員ではありません。でも「我々は自分たちの国を造る」と武装組織になっていて、タイの治安部隊としばしば衝突し、タイ国内でテロをやる。

そのため、テロとは無関係のマレー系イスラム教徒たちは十把一絡げにテロリスト扱いされ、多くの場合、未解決の犯罪事件の犯人にでっち上げられるのです。乱暴な取り調べを受け、暴力によって無理やり自白させられ、オートマチックに有罪となって刑務所にぶち込まれる。

裁判官は被告人ではない。裁かれなくていい。裁く立場の人です。死ななくてもいい人が自分の胸を撃ったら国民が注目する。「無罪と言うだけではなく、自らを撃つ事によって、皆の目を覚まそうとした。」

「不公平な事は止めましょう」と言葉だけで言っても、その道徳のメッセージが届かない。ならば 1 つしかない命を懸けて、命をもって談判する。命懸けというより、命をもって抗議する。

死ななくてもよい人が死ぬ事によって、人々が考え、目を覚まし、「こんな事、続けてていいんだろうか？」と、良心を呼び覚ますためにそうしたと。

日本にも血判状というのがあって、大抵は農民一揆の時にやるそうですね。「絶対に秘密が漏れないように、ここに名前を書いた人は血でハンコを押して下さい。」血には「命を懸ける」という意味があります。

イエス・キリストは人間は人間でも、罪のない人間ですよ。神なのに人となって、この世界に来て下さった方です。この方が血を流すという事は、もちろん人間の血ですが、単に「不思議だと思わないか」という以上の事なんです。

流されたアベルの血は、罪人を告訴する叫びとなって、神の前に訴えたけれど、キリストの血潮は、罪人を弁護する叫びとなって、神の前に立ち上っているのです。

ヘブル 9:22 律法によれば、ほとんどすべてのものは血によってきよめられます。血を流すことがなければ、罪の赦しはありません。

逆に言えば、もし罪のない方の血を流すなら、罪の赦しが来るのです。

キリストはなぜ、十字架にかかって血を流さなければなかったのでしょうか？ 神がご覧になっても、どこにも罪が見当たらないという完全な赦しをもたらすためには、キリストの血潮以外になかったんですね。イエス・キリストは、なぜ血潮を流して下さったのか？ 私たちを愛しているからだと言うのです。

3) 黙示録 1:5 **また、確かな証人、死者の中から最初に生まれた方**；キリストがよみがえる事によって、神様の愛が分かる。復活こそは、キリストがキリストである事の根拠なんですね。もし復活がないなら、少なくとも3つ、大きな問題が生じます。

①復活がないなら、キリストは嘘つき：イエスは十字架にかかる前、弟子たちに、前もって繰り返し言いました。「人の子イエス・キリストはエルサレムに行って、長老・祭司長たちに排斥され、ひどい目に遭い、十字架に付けられる。しかし、3日目によみがえる。」1回だけではなく繰り返し、「わたしは十字架で死ぬが、それがゴールではなく、3日目によみがえるのだ」と預言していました。それは約束です。

それほどに繰り返し復活の約束をしながら復活できなかつたら、イエスは約束を果たせなかつた事になる。嘘つきです。復活の約束を果たせなかつたら、復活以外の約束も守ってもらえるか分からなくなる。つまり、キリストが真実な救い主かどうかは、復活に懸かっているのです。

死からのよみがえりという最も困難と思われる約束をやすやすと実行できたなら、それ以外の約束を果たすのは、もっとたやすくなるでしょう。なので、復活があったかなかったかは、イエスが嘘つき・詐欺師なのか、それとも本当の救い主なのかを分ける分水嶺なのです。

②復活がないなら、仮にイエスが罪を永久処分して下さったとしても、クリスチャンには新しい罪責感が生じると思います。「私の罪はイエス・キリストが十字架で身代わりとなって、全部償って下さった。そして、キリストはずっと地獄で苦しんでいる。」それを信じるクリスチャンは、信じるや否や、新しい罪責感に悩みませんか？

例えば、この集会が終わって外に出たら、向かいの米屋さんに、なぜだかマスクが売ってある。あなたはトラックが見えてなくて、「あ、マスクだ!」と飛び出し、私が「危ない!」と止めたけど、私だけ轢かれて死んでしまった。あなたは「助かった! では!」と言って帰りますか? 翌週、この集会に来にくくないですか? 「助かったし。」助かったでしょう。「無傷やし。」無傷でしょう。

でも、誰かの不幸に乗っかって、自分の良かった事を心の底から喜ぶ事ができるだろうか?

キリストが私の罪を全部処分して下さったとしても、復活せずにずっと苦しんでいるままなら、私はその立場を喜べないと思います。責められて。

キリストは死んで苦しんだままじゃないんです。キリストは十字架上で、最後に「完了した」と言われました。あの十字架の上で、人が死後に受ける裁きの全部を償い切って、全部終わらせた。「完了した。」そして、3日目によみがえられたのですね。

③復活した人がリアルであるほど、復活した人が行く天国はリアルなものだと言える。

復活がないなら、復活後に行く世界も夢・幻になる。本当の希望は復活の事実には懸っているのです。

先日、古い友人からメールがありました。『聖書と福音』の番組が700回目を迎えた時、わざわざ関東から聞きに来られた、気持ちのいい、大好きな方。彼は昨年末に、奥さんを癌で亡くしました。

召される数日前に、あんなに反対していたイエス・キリストをはっきり信じて、「イエス様は私を愛して、全部後始末して下さいだ。」単純に信じて天国に行った。そこまでは良かったんです。

が、「後から大きな喪失感がやって来て、もう悲しくて寂しくてたまらない。その時、『聖書と福音』で高原さんが話していた事をあれこれ思い出して。でもバックナンバーが1000本以上あるので、どれか探して下さい」というメール。

言ったのは覚えているけど、ナンバーまで覚えてない。だけど「これは探さなアカン」と思って。聞きながら励まされました。聞きながら「ええ話やな」と。福音がですよ。「福音で、ええ話やな」と。

彼が言っていたのはこんな話です。ヨットがどんどん沖に行って、「さよなら」と手を振っている。まだ視界の中にある時は別れた気がしない。だけど、とうとう水平線の向こうに消えた時、しみじみと「本当に出て行ってしまったんだな。本当にお別れだな」という気持ちになる。しかし、こちらの水平線で見えなくなった瞬間、向こうの陸地では、水平線の彼方にヨット・新しい船が来たのが見える。

この世界でキリストを信じた人を見送るのは失ったのではない。その人は天国で生まれたのだ。上陸したのだ。こちらで「おやすみ」と息を引き取った瞬間、天国で「おはよう」と言って起きてるんだ。そして、先に天国に行った人たちは、地上に残っているクリスチャンたちに、多分頭を掻きながら、「先に行ってすまんね。そちらの方が、はるかにきついんだよ。」

今生きている世界よりも、はるかに良い世界。そういう所に行く。そんな世界がある。

それをはっきり示す事ができるのは、死んで、死後の世界を見て、よみがえった方の証言です。見た事だから目撃者証言。キリストはその証言をして下さったんです。

ところで、ヨハネ 20:24-25 十二弟子の一人で、デドモと呼ばれるトマスは、イエスが来られたとき、彼らと一緒にいなかった。そこで、ほかの弟子たちは彼に「私たちは主を見た」と言った。しかし、トマスは彼らに「私は、その手に釘の跡を見て、釘の跡に指を入れ、その脇腹に手を入れてみなければ、決して信じません」と言った。

これは、イエス・キリストが復活した当日の事です。イエスには12弟子がいましたが、イスカリオテ・ユダはキリストを裏切って自殺しました。残りの11人の内10人が集まっていた時、十字架にかけられて3日目のイエスが復活して、彼らの前に姿を現すんです。

全員揃ってたらいいのに、なぜか分からないけど、トマスが1人だけいないんですね。「不信仰になってたんちゃうか」と言う人もいます。なぜなら、トマスは十字架の場面にいない。お墓を見に行った記録も

ない。最後に皆が集まっている時も、1人一匹狼のようにいないんですね。

でも、「不信仰でない」とはっきり書いてないので、勝手に決めつけたら可哀想な感じですよ。皆さんも来れなかった時に、「先週、来たら良かったのに」とか言われたら、何かカチンと来ませんか？

イエスが10人に現れて「わたしはよみがえった。」後でトマスが合流した時、彼らは当然言いますよね。ほかの弟子たちは彼に「私たちは主を見た」と言った。しかし、トマスは彼らに「私は、その手に釘の跡を見て、釘の跡に指を入れ、その脇腹に手を入れてみなければ、決して信じません」と言った。

彼はなぜこんな事を言ったのでしょうか？ まだ、復活のイエスを見ていないトマスはうなだれてガックリ。同じようにガックリきているだろうと思って10人と会ったら、皆顔がキラキラしている。

「何で、そんなに明るいんだ？」「おまえ知らないのか？ 私たちの主はよみがえった。私たちは見た。喋った。一緒に食事したぞ。」口々に、イエス様はああだった・こうだったと目撃者証言。

その時「ああ、俺もその場におつたらなあ」とか「俺も君たちのような信仰が欲しい」とか「そんな信仰を分けてくれ」とか、それだったら素直なんだけど、この人、ちょっと無神論者みたいな事を言うんです。

キリストは十字架にかけられた時、両手に釘を打ち込まれています。私は、その手に釘の跡を見て、その釘跡を見るだけではなく、釘の跡に指を入れな、気すまへん。更に、十字架上でローマ兵が脇腹を刺したので槍の跡が残っているはず。その脇腹に手を入れてみなければ、つまり、物理的に確認しなければ「決して信じません。」

キリストの弟子ですよ。しかも、12弟子に選ばれている人が「決して信じません」と告白しているって不思議だと思いませんか？ もしかしたら「おまえらだけ、ええな」みたいなのがあったのかもしれない。でも、非常に実証主義者のような感じで「信じない」と言った。

ヨハネ 20:26-27 八日後、弟子たちは再び家の中におり、トマスも彼らと一緒にいた。戸には鍵がかけられていたが、イエスがやって来て、彼らの真ん中に立ち、「平安があなたがたにあるように」と言われた。それから、トマスに言われた。「あなたの指をここに当てて、わたしの手を見なさい。手を伸ばして、わたしの脇腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」

トマスが8日前に言った言葉を、イエスは全部聞いていたのです。11人になった時、「実際に物理的検証がないと信じない」と言ったその言葉をイエスは聞いていて「やってごらん。」(*ソフトに)

「あなたの指をここに当てて、わたしの手を見なさい」は、「よくも言うたな!」じゃないです。

彼もイエスの弟子です。「イエスの復活を信じたいのに信じる事ができない。信じたいのはやまやまだけど、どうしても信じる事ができない」という葛藤に、1番苦しんでいたのはトマスだと思います。

信じないために信じないと言っているのではない。信じたいけど、納得できてないのに信じるとは言えない。信仰者のその葛藤をイエスはよくご存知で、付き合っただけで、怒りながらではなく、トマスをねぎらい・ほぐし・説得し、「本当によみがえったんだよ」と優しく言って下さっているのですね。

皆さん、この集会が終わった後、クリスチャンとお話する時間がありますが、イエスは全部聞いています。「お茶、熱いな。」そんなんは別にいいんですけど。イエスがいるんなら、どうのこうの。クリスチャンに向かって言っているけど、イエスは全部聞いておられる。

そしてイエスは、信じたいと思いながら、葛藤している人の悶えを理解する事ができる方です。

トマスはそれを見たので、ヨハネ 20:28 **トマスはイエスに答えた。「私の主、私の神よ。」**

この言葉は、とても慎重に読まなければなりません。

アメリカ人はびっくりした時「オーマイガッ!/Oh my God!」と言いますね。**私の神よ**。深い意味はないです。「あー、ビックリした!」感嘆詞みたいな軽い使い方「Oh my God!」と言っている。

2000 年前、イエスを信じる敬虔なユダヤ人トマスは、冗談や軽口で神の御名を使う事はありません。ここで彼が「**私の主**」と言ったのは、旧約聖書に出て来るアブラハム・イサク・ヤコブの神に対して使う言葉です。「あなたは旧約時代に登場したヤーウェなる方です。そして、**私の神**です」と言ったんです。

人が神に向かって「わが神!」と言う時、同じ目線で、突っ立ってると思いませんか?

この時トマスは、恐らくひれ伏していると思いますよ。イエスに対して、礼拝者の態度で「**私の主、私の神よ**」と言ったんです。これが信仰告白です。

イエスは十字架にかかっただけでなく、墓に葬られただけでなく、3 日目によみがえった。「私が生涯従って行くべき主だ」と告白しているんです。これが信仰告白です。

トマスが「**私の主**」と告白し、礼拝の態度で接している時、イエスは「わたしは人だから、礼拝してはいけない」と止めていない。その礼拝をそのまま受け入れている。なぜですか? 神だから。人となられた神だからです。だから、この方は当然のように、人からの礼拝を受けられたんですね。

復活を信じないで、イエス・キリストを信じた事になるでしょうか? 復活を信じなくても、罪からの赦しを得る事はできるでしょうか? できません。

私たちがイエス・キリストを信じる時、神はその信仰を見て、イエス・キリストの死を私の死、イエス・キリストの復活を私の復活と見なして下さるのです。

福音メッセージの構造は、十字架と復活がいつも対(ついで)です。「十字架は信じて、復活はない」と言うのは、イエスを救い主/神として信じた事にならないんですね。

「心に思い出としてよみがえった」とかいうのじゃなくて、本当に歴史的事実として額面通りに、よみがえった事を信じなければなりません。もし信じるという事が難しい場合は、是非説明を聞いて下さい。

アメリカのトランプ大統領が1番尊敬している大統領はニクソン大統領(1913-1994)です。トランプ大統領は学生時代にニクソン大統領に手紙を書いて返事もらった。その手紙を額に入れて、ホワイトハウスに飾っています。

ニクソン大統領は、外交家としては本当に凄腕だったと思いますよ。でも、彼は歴代アメリカ大統領の中で唯一、任期を全うしないで途中で辞任しました。ウォーターゲート事件(1972-1974)を起こしたから。

大統領選挙の時、ライバルの民主党の対策本部に盗聴器を仕掛けて、どんな戦略を練っているのか聞き取ろうと、7人の忠誠心溢れる側近中の側近を集めて、民主党の選挙対策本部が入っていたウォーターゲートビルに忍び込ませた。ところが、守衛さんに見つかって7人全員捕まったんです。

ニクソン大統領(在任 1969-1974)は責任を取って辞任しました。

その側近の1人、チャールズ・コルソン(1931-2012)も刑務所に入りますが、獄中でイエス・キリストを信じてクリスチャンになり、出所した後、世界中の刑務所の待遇を良くして、福音を伝える事ができるように「プリズン・フェロウシップ」という団体を作って活動しました。彼が復活について語っています。

「私はイエスの復活が信じられない人に、いつもこう言っています。『イエスの復活を見た弟子たちの目撃者証言ですよ。』すると大抵『なぜ、それが本当だと分かるのか?』そこで、自分の体験を話します。」

「あのビルに忍び込んだ 7 人は、ニクソン大統領に忠誠心のある側近中の側近でした。しかし、いざ捜査が始まると、1 番忠誠心があると思われていた法律顧問のジョン・ディーン (1938-) は僅か 2 週間で寝返って、ニクソン大統領に不利な証言をし、しらばっくれるという隠ぺい工作は 2 週間で終わりました。彼らが恐れていた罰は刑務所に入る事です。彼の罪が司法取引で軽くなったのを見た残りの人たちも、刑務所に入らないように、嘘をついていた事を告白して、次々にひっくり返って行ったんです。」

「弟子たちは刑務所じゃなくて殉教ですよ。嘘のために死ぬるでしょうか? 自分で嘘だと分かっている作り話のために死ぬ事ができますか? この目撃者証言が作り話で嘘なら、彼らは嘘のために死んだ事になります。だけど 500 人以上の中で、あれは嘘だったと背教したり、転んだ (* 棄教した) 人は 1 人も出ませんでした。そこに、目撃者証言の真実があると思うのです。」

神様は私たちを愛しておられる。聖書に有名な言葉があります。

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世 (あなた) を愛された。(ヨハネ 3:16)

4-5 年前に広島集会に行った時、ダウン症のクリスチャン少年がいました。クリスチャンは日曜日午前中の礼拝で、神様・イエスを思い巡らし、それぞれ立ち上がって祈りの中で言います。

ダウン症の方は緊張し易いですね。そして、長い文章を暗記するのが難しいと聞いていますが、彼は長い聖書の言葉を覚えて、スッと立って礼拝するんです。ところが文章が長いので、途中で消えるんですね。一生懸命思い出そうとして、こう言いました。

「神は…、神は…、神は、実に、そのひとり子を、実に、実に、実に、あのひとり子を、神は、あのひとり子を、神は、ご自分の、あのひとり子を死なせて下さった。」

聖書の言葉を正確にそらんじる事はできませんでしたが、私は泣けて泣けて仕方なくて、礼拝が終わってから、しばらく立つ事ができませんでした。

神が下さったのは一体誰だったのか? **実に、そのひとり子**イエス・キリストです。

その方があなたのために人となり、死者となり、よみがえって下さった。

この方を救い主として信じる者に、永遠の命が与えられます。

是非、イエス・キリストを信じて下さい。心からお勧めしたいと思います。

~~~~~  
\* 動画は YouTube で「**HCA 東住吉キリスト集会**」検索。ぜひ見て下さい。

\* ラジオ番組「**聖書と福音**」(15 分) も是非どうぞ。スマホでいつでも聞けます。YouTube もあります。

動画筆記 : Rumi